

# MEMUROサテライト

食とまちづくり

とちぎ熱中小学校 芽室サテライト校の開催報告



▲クリスマス仕様の会場の様子

## 熱中クリスマス

12月18日(土)、とちぎ熱中小学校の第3回目となる芽室サテライト校が開催されました。年内の授業はこれで最後となります。

会場はクリスマスシーズンということで、ツリーやイルミネーションなどが飾られ、クリスマスソングも流れるなど、暖かく素敵な雰囲気に包まれました。

実は今回使用したクリスマスグッズは芽室町の友好都市である「サンタの町」広尾町からお借りしたもので、今年で提携35周年を迎える節目のタイミングで、両町のつながりをアピールできる場となりました。

当日の参加者はオンライン含めて94名で、会場はまさに「熱中」の言葉通り熱い空気が充満していました！

### ▼トークセッションの様子



## オンリーワンの存在に

1限目はサツドラホールディングス株式会社代表取締役兼CEOである富山浩樹氏による授業でした。

事業テーマを「地域」としているだけあり、北海道共通のポイントカードEZOKAを作ったり、道内の自治体やスポーツ団体と連携して事業を行ったりと、まさに地域密着。

人生100年時代と言われる中、時代と価値観に合った企業や個人に求められる生き方、そして自分にしかない掛け合わせで唯一の人材となれるお話は心に刺さるものがありました。



▲講義を行う富山氏

## 譲れないもの

2限目はTOYO Cheese Factory取締役の長原ちさと氏、めむろワイナリー株式会社代表取締役の尾藤光一氏による講義と、その後質問を交えたトークセッションが行われました。

芽室町出身であり、地元で活躍されるお二人のチーズやワインに対するこだわり、情熱、そんな想いの原点にまで触れ、改めて芽室町という町の素晴らしさ、可能性、そんなことも感じていただけたのではないのでしょうか。

長原さんの「全て十勝産のチーズでプラトーを作りたい!」、そして尾藤さんの「必ず世界に!」この熱い言葉が印象的でした。

今年度最後となる芽室サテライトは2月5日(土)です。芽室町民の方は授業料1,000円で単発参加が可能です。ぜひ多くのおみなさんのお参加を楽しみにお待ちしております！